

オオキンケイギク 第6回長岡区一斉除去作戦

オオキンケイギクは自然環境・生態系への影響が特に心配される「**特定外来生物**」です！

この花を植えたり、拡げたりすることは、禁止されており、きれいな花だからといって、ご自宅のお庭や花壇などに植えては、絶対にいけません！！

5月～7月頃にかけて、鮮やかな黄色の花をつけるオオキンケイギク！ 長岡区内の道ばたや空き地などでよく見かけるようになり、5年間駆除してきました。根こそぎ取れば減らせますが、根絶は大変です！

長岡の自然環境・生態系にひどい影響が出る前に、京丹後長岡緑の少年団のこどもたちが、明日につなぐ長岡協議会と共催で、今年もオオキンケイギクを減らすために、第6回長岡区一斉除去作戦を行います！

長岡区民の皆さまのご参加・ご協力をお願いします！

また、ご自宅周辺等で見かけられましたら、抜き取って枯れさせるか、燃やすごみとして処分していただけるとうれしいです！

どうぞよろしくをお願いします！！

- ◆ 実施日時 令和5年6月4日(日)午前8時30分から 約1時間
- ◆ 集合場所 長岡地区公民館
- ◆ 実施方法 大谷川沿いなどの群生場所で、根元から抜き取ります。抜き取ったらすぐにゴミ袋に入れて、回収し焼却処分します。作業にあたっては、種・根等の飛散がないよう注意します。
- ◆ 持ち物等 軍手、お茶など

▼ 昨年の第5回一斉除去作戦の様子



昨年は、緑の少年団と長岡区民32人が参加し、ゴミ袋で58袋(220kg)を除去しました！！

主 催 京丹後長岡緑の少年団
明日につなぐ長岡協議会
後 援 長 岡 区
連絡先 京丹後長岡緑の少年団
嶋田喜一団長:62-7588

特定外来生物とは？

外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）により、生態系などに被害を及ぼすものとして指定された生物です。

この特定外来生物を飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・野外に放つことは原則禁止しており、違反すると罰則があります。

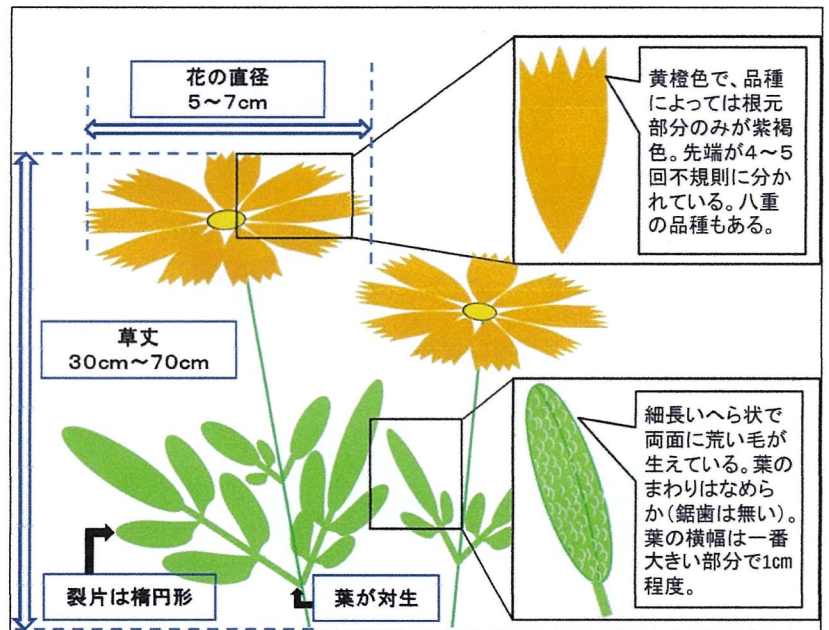
なぜオオキンケイギクが特定外来生物か？

オオキンケイギクは北米原産の多年草で、5月～7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせます。強靱でよく生育することから、かつては工事の際の法面緑化に使用されたり、苗が販売されたりしていました。しかし、あ



まりに強く、いったん定着してしまうと在来の野草の生育場所を奪い、周囲の環境を一変させてしまいます。人の手でこれ以上拡げないようにするため、平成18年2月に外来生物法に基づく特定外来生物に指定されました。

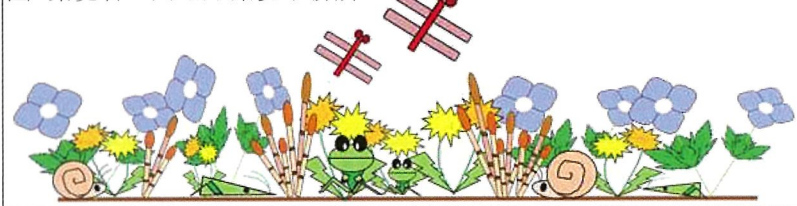
図：環境省九州地方環境事務所



オオキンケイギクとは？

和名 オオキンケイギク
科名 キク（Compositae）
学名 *Coreopsis lanceolata*
原産地 北アメリカ
特徴 キク科の多年生草本で、

図：環境省九州地方環境事務所



さまざまな生物がいる場所に
オオキンケイギクが侵入してしまうと…



旺盛な繁殖力で、他の植物の生育場所を奪ってしまう。
餌にしていた植物が無くなると動物もいなくなる可能性もある。

高さは30cm～70cm程度。開花期は5月～7月。とても強靱で繁殖力が強く、かつて観賞用・緑化用として国内に導入され、道路の法面緑化等に使われていたほか、ポット苗で園芸植物としても流通していました。

京丹後長岡緑の少年団では、平成8年に大谷川改修整備が行われた土手に、赤・白・黄色3種のマーガレットやポピーの種をまきましたが、今残っているのは白色のマーガレットだけとなりました。オオキンケイギクは、後で侵入してきたものです。